

地域変革のためのヒアリングシート(利用者から見た地域の状況)

受講者ID: U・

しめい(ひらがな):

書式2-②

【1】利用者が参加・所属している地域組織または参加したがつている組織について

<例> 自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・各種<連続>講座・ボランティアグループ

組織の名前は？	
どの程度の「参加」か？	
参加しやすい条件整備がなされているか？	
どういう条件が整えば、もっと参加しやすくなるか？	

【2】利用者の交友相手<友達>について

<例> 井戸端会議の相手・同窓生・趣味友達・講座友達・級友

どんな関係の人	
利用者の資源になりうるか	
どうしたら資源になるか	

【3】利用者が所属している当事者組織について

どんな組織に属しているか	
利用者同士の問題解決のために十分機能しているか	
もっと機能するためには、どういう支援が必要か	
利用者はどんな役割を果たしたらいいか	
その組織は利用者にとってどんな意味があるか	

【4】利用者に（福祉的に）関わっている人や組織・企業〈商店〉・隣人について
 ※行きつけの商店の主が、店頭で親切にしてくれる程度でもいい。

どんな関わりをしてくれているか	
もっとすすんだ関わりをしてもらうには、どんな条件が整備されたらいいのか	
こちらとしてどんな努力をしたらいいか〈どんな仕掛けを施したらいいか〉	

【5】利用者が見込んでいる相手〈相談に乗ってくれたり、困った時助けてくれる人〉
 ※行きつけの商店・診療所の医師・隣人について。なぜその人を見込んでいるのか。

その利用者が見込む相手はどういう条件があるのか	
利用者が見込んでいる人が、見込まれたことをきちんとしているか。	
していないとすれば、それはなぜか	
見込まれたことをその人が実行するには、どういう働き掛けが必要なのか。	

【6】利用者の親族で、利用者が頼みにしている相手について

その相手は、利用者の期待に添うよう行動しているか	
していないとすればそれはなぜか	
どうしたら期待に添うよう行動するようになるか	
他の親族はなぜ頼りにならないのか	
どうしたらもっと頼りになる親族になるのか。	

【7】利用者の〈これから戻る〉近隣は、利用者にとっていい近隣か。

どのように頼りになるか	
どのように頼りにならないか	
どんな人材が存在しているか〈世話焼き・ロ 利き・など〉	
もっと頼りになる近隣にするにはどうしたら いいか	

【8】利用者の周囲で、活用できそうな地域資源はあるか。

どんな資源が分布しているか〈いわゆるボ ランティアや民生委員、福祉推進員だけ でなく、世話焼きさんや、保健福祉のプロ、各 種公共機関なども〉	
それぞれどんな資源性を持っているか	
それぞれ利用者にどんな資源になりうると 思うか	
それらの資源を利用者に振り向けるにはど んな仕掛けが必要か	
それぞれがより強力な資源になるには、ど んな仕掛けが必要か	

【9】利用者にとって「隠れた資源」となっているもの〈利用者を元気にさせているもの〉について
※特に動植物や自然環境、日常生活の各種グッズ、遊び・スポーツなど、人間以外の資源に着目。

あるとすればそれは何か	
-------------	--

【10】利用者は地域に対して、どんな資源性を有しているか。

＜例＞隣人の相談相手、同じハンディを持った人の相談相手、趣味グループなどで、ユニークな働きをしている、など。

資源性とそれが機能している対象を羅列	
利用者が頼りにしている相手に対して、どんな資源性を発揮しているか	
利用者が潜在的に有している資源性は何か	
それぞれ誰に対して資源となりうるか	
利用者の資源力を増強させるには、どんな支援が必要か	

【11】利用者にとっての資源同士のネットワークの状況はどうか。

これまで挙げられた資源相互の連絡はどの程度なされているようか。お互い（資源同士）、その利用者に関わっていることをどの程度承知しているようであるか	
もっときちんとネットワークができるためには、どんな支援が必要か	

【12】利用者の自宅（居住場所）は、どのような資源となるか

資源を発掘・活用するのにどのように適しているか、または適していないか	
より多くの資源を発掘・活用するために、どんな環境整備が必要か。（利用者のセルフケアマネジメント能力の開発。自宅の改造。支援者の確保。資金援助など）	

【13】利用者のセルフケアマネジメント能力（自分の状態を正確に把握・ハンディの中身も客観的に把握・その克服策の工夫・必要な資源を発掘・活用する資質等）の評価をしてみよう。

※人に好かれる（人が寄って来る）・自分も人が好き・人の好き嫌いが無い・困ったら困ったと言える・だれにも気軽に助けを求めることができる・助け手を上手に探し出す・お礼の言い方・仕方も上手・人間関係に長けている。自分もお返しができる・自分の（他人に）できることを上手に生かす・自分の意思をきちんと伝えられる・コミュニケーション手段を持っているし使える・どこへでも気軽に出かけられる・人を呼び込む場（空間）を確保している・セルフケアマネジメントのための支援者（秘書？）を確保している

セルフケアマネジメント能力の評価	
------------------	--